

《担当者名》○明野聖子[naga-s@hoku-iryu-u.ac.jp] 佐藤美由紀[m-sato@clg.niigata-u.ac.jp] (非)

【概要】

公衆衛生看護の基盤となる理念や概念を理解するとともに、専門職業人としての責務を果たすことができるよう知識と態度を身に付ける。また、公衆衛生看護活動に必要な知識と態度を身につけるために、公衆衛生看護における倫理観をはじめとする基本的な考え方への理解を深め、公衆衛生看護活動の目的と意義を学ぶ。

【学修目標】

- 1) 公衆衛生看護の基盤となる理念および概念を理解する。
- 2) 公衆衛生看護の理念に基づく倫理観を養う。
- 3) 公衆衛生看護の対象、健康課題、活動方法を理解し、公衆衛生看護の特徴を説明できる。
- 4) 公衆衛生看護活動の目的と意義を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 公衆衛生看護の理念と定義	オリエンテーション 公衆衛生看護の定義、保健師の専門性とコンピテンシー、社会的公正、保健師の活動指標	明野 佐藤
2	公衆衛生看護の理論	プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーション、ノーマライゼーション、ソーシャル・キャピタル	明野
3	公衆衛生看護の基本となる概念	ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)、地域共生社会、パートナーシップ	明野
4	公衆衛生看護活動の歴史	公衆衛生看護の芽生えと発展	明野
5	公衆衛生看護の対象(1)	公衆衛生看護の対象としての個人・家族、集団、地域	明野
6	公衆衛生看護の対象(2)	健康の社会的要因と環境的要因	明野
7	公衆衛生看護の活動方法(1)	公衆衛生看護における個人・家族、集団を対象とした活動方法の基本的な考え方	明野
8	公衆衛生看護の活動方法(2)	公衆衛生看護における組織、地域全体を対象とした活動方法の基本的な考え方	明野
9	公衆衛生看護活動の展開(1)	地域で暮らす人々の健康課題と公衆衛生看護活動の実際	明野
10	公衆衛生看護活動の展開(2)	公衆衛生看護活動における展開の実際を通して、保健師の専門性と役割について発表し、討議する。	明野
11	公衆衛生看護の倫理(1)	公衆衛生看護の倫理的実践における概念、倫理原則	明野
12	公衆衛生看護の倫理(2)	公衆衛生看護における倫理的課題[事例検討]	明野
13	公衆衛生看護の質保証(1)	公衆衛生看護におけるエビデンスの考え方について理解を深め、エビデンスを活用した公衆衛生看護の意義について学生間の討議を通して学ぶ。	明野
14	公衆衛生看護の質保証(2)	公衆衛生看護におけるエビデンスの活用方法とその意義について、学生が研究論文を用いて発表・討議を行い、理解を深める。	明野
15	公衆衛生看護活動の目的と意義	1~14回目を振り返り、公衆衛生看護活動の目的と意義について学生間の討議を通して学ぶ。	明野

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

**【評価方法】**

プレゼンテーション（40%）、ディスカッション（30%）、課題レポート（30%）により総合的に評価する。

**【教科書】**

麻原きよみ編：公衆衛生看護学テキスト 第1巻 公衆衛生看護学原論、医歯薬出版株式会社

**【参考書】**

岡本玲子著：公衆衛生看護学テキスト 第3巻 公衆衛生看護活動、医歯薬出版株式会社

奥山則子・島田美喜・平野かよ子編：ふみしめて七十年、日本公衆衛生協会

宮本ふみ：無名の語り - 保健師が「家族」に出会う12の物語 -、医学書院

**【学修の準備】**

- 1) 関連する教科書や文献を読んで臨む。
- 2) 提示された課題を実施し、授業時に持参する。
- 3) 指定の期限までに、課題レポートを作成し、提出する。

**【学修の方法】**

1回、9回、11回、13回は講義を行う。2～8回、10回、14～15回は、学生が発表・討議を行い、教員がコメントする。12回は、事前に事例を配布し、公衆衛生看護における倫理的課題に焦点をあてて事例検討を行う。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。